

事業ドメインとキーテクノロジー

創業以来、光学技術を磨き続ける「科学事業」。電子映像技術の最先端研究を牽引する「映像事業」。そして、これらの技術を活用して成長を続ける「医療事業」。各事業で培われたテクノロジーがオリンパスの最大の強みであり、世界一流の製品づくりを実現しています。

医療事業

消化器内視鏡シェア（世界）

70% No.1

オリンパスのテクノロジーが支える 圧倒的な世界シェアと成長力

1950年に世界で初めて実用的な胃カメラを開発したオリンパスは、それ以来、世界最先端の消化器内視鏡製品を生み出し続けることで、圧倒的な世界トップシェアを維持してきました。この製品開発力を支えているのが、顕微鏡やカメラを通じて培われた光学技術や電子映像技術です。

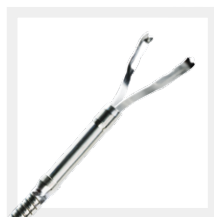
さらに、消化器内視鏡で培った技術を外科分野でも活用することで、製品領域を拡大し、さらなる成長を目指します。



上部消化管汎用
ビデオスコープ
（消化器内視鏡）



パイボラ高周波・超音波
統合エネルギーデバイス
「THUNDERBEAT」



ディスポーザブル
回転クリップ装置
「QuickClip Pro」



医療事業

収益、成長の
ドライバー

キーテクノロジー

光学技術

光学計測技術／先端光学技術／
次世代光学設計技術

電子映像技術

イメージャー技術／デジタル画像基盤技術／
高速通信技術／システムLSI

精密技術

精密制御技術／精密実装技術／
MEMS技術／超小型デバイス

生体基盤技術

生細胞解析技術／細胞分離・培養・評価技術／
遺伝子導入技術



科学事業

光学技術、成長の
ドライバー



映像事業

光学・画像技術の
ドライバー

科学事業

生物顕微鏡、工業用内視鏡シェア（世界）

40% No.1

顕微鏡から始まり、カメラ・内視鏡へと受け継がれる 光学技術の源泉

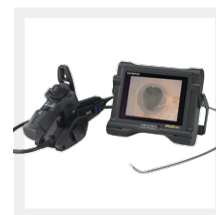
世界トップレベルのシェアを持つ生物顕微鏡はオリンパスの創業事業であり、コアコンピタンスである光学技術の源泉です。顕微鏡の重要部品であるレンズの加工技術は、美しい画質を実現するカメラレンズや、細い内視鏡の先端に取り付ける極小サイズのレンズ等、各事業の主力製品に欠かせないものです。



多光子励起
レーザー走査型顕微鏡
「FLUOVIEW FVMPE-RS」



超音波フェーズドアレイ探傷器
「OmniScan SX」シリーズ



工業用内視鏡
「IPLIX」シリーズ

映像事業

ミラーレス一眼カメラシェア（国内）

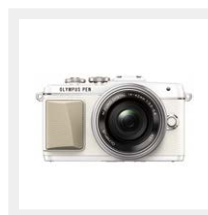
25% No.2

最先端の電子映像技術を生み出す技術革新のドライバー

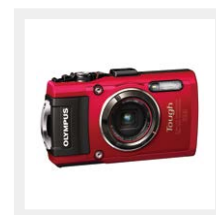
製品開発のサイクルが短く、多くの競合メーカーとの激しい競争にさらされるカメラ事業で生まれた最先端の電子映像技術は、ほかの事業にも恩恵をもたらしています。例えば、デジタルカメラの開発によって獲得したデジタル映像技術は、内視鏡をファイバースコープからビデオスコープへと進化させました。



ミラーレス一眼カメラ
「OLYMPUS OM-D
E-M5 Mark II」



ミラーレス一眼カメラ
「OLYMPUS PEN Lite
E-PL7」



コンパクトデジタルカメラ
「OLYMPUS STYLUS
TG-4 Tough」